

【参考資料】各講義内容、講演者プロフィール

9月29日（日） 14:00～15:30 「漢文・アニメ・国際」で大喜利するとー典拠を踏まえるオマージュの世界ー

講師：山田 純（学芸学部日本語日本文学科 教授、相模女子大学日本学国際研究所 所長）



漢文には、過去の作品の一部を模倣しながら書く、「典拠を踏まえる」という「書き方の作法」があります。つまり、「オリジナル」であることが減点となるのです。今とは正反対ですよ。

正反対なのですが、本当に「今と昔では、たいそう違っているなあ」なのでしょう。現存する日本最古の『古事記』（712年）から続くこの国の文学史が、1300年に及ぶ不変の「典拠文学」であり、その中には現代アニメが含まれている、そんなお話をいたします。

11月10日（日） 14:00～15:30 歌舞伎を世界へ ～歌舞伎の映像化コンテンツが秘める可能性～

講師：窪寺 祐司氏（松竹株式会社演劇ライツ部 部長）



「歌舞伎を観てみたいけど、いきなり劇場へ行くのも緊張する…」という方も多いのでは？実は、「映像」で歌舞伎を楽しむ方法もたくさんあるのです。歌舞伎座の臨場感を映画館で味わえる「シネマ歌舞伎」、時間や場所を選ばずに好きな時に歌舞伎を楽しめる「歌舞伎オンデマンド」などなど…。さまざまなニーズに応えながら歌舞伎の鑑賞方法も多様化しています。映像で楽しめる作品の中からいくつかの演目を取り上げて、歌舞伎のみどころや、海外での展開についてもご紹介いたします。

歌舞伎がぐっと身近になる講座をお楽しみに！

2025年1月26日（日曜日） 14:00～15:30 マンガが描く少女マンガ家 ～少女マンガをめぐるイメージの変遷～

講師：岩下 朋世（学芸学部メディア情報学科 教授、相模女子大学日本学国際研究所 研究員）



少女マンガ家が登場するマンガ作品から、少女マンガをめぐるイメージの変遷を読み解いていきます。

2025年3月16日（日曜日） 14:00～15:30 日本近代美人画の魅力 ～日本画家・鏑木清方とその一門を中心に～

講師：今西 彩子氏（鎌倉市鏑木清方記念美術館 学芸員）



近代の日本画には、女性を題材にした美人画と呼ばれる作品群があり、明治から昭和前期にかけて様々な画家により多数描かれました。

本講座では、日本の美人画の海外での紹介や評価を踏まえつつ、巨匠と呼ばれた鏑木清方の多岐にわたる画業と弟子たちの作品を中心にご紹介し、美人画の魅力に迫ります。

【本件に関するお問い合わせ先】

相模女子大学 広報事務局 米澤智子（ワンパーパス株式会社内）

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号

TEL: 080-5083-6834 / e-mail: t-yonezawa@onepurpose-pr.com

学園キャラクター
さがっば・ジョー